

AUTOMATIC MODEL 自動巻モデルの操作方法



position:0

ネジ込み式リューズのネジ込み位置

position:1

ネジ込み解除および主ゼンマイ手動巻き上げ位置

自動巻時計は、着用時の腕の動きによってムーブメントのローターが振動することで主ゼンマイが自動で巻き上がり、時計が作動します。ただし、巻き上げ不足や長時間の放置により動力が消耗すると時計は作動を終えますので、即時に再作動させる際は、手巻時計の要領でリューズを「図 1.」の位置で回して動力を与え、作動を促してから腕に着用してください。

position:2

日付・曜日の調整位置

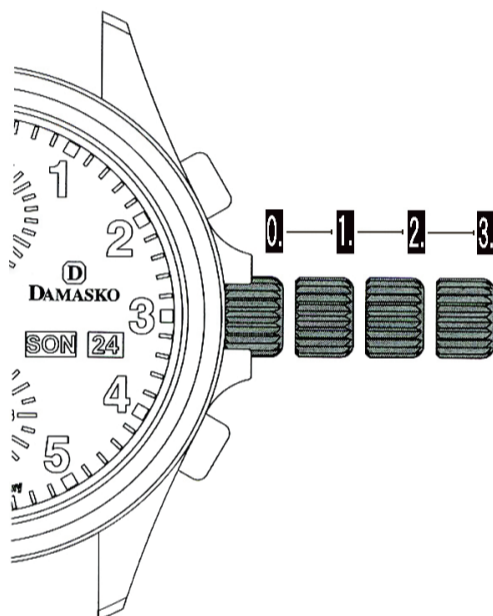
リューズを「図 2.」の位置に一段引き出してください。リューズを 12 時方向へ回すと日付が調整できます。逆の方向へ回すと曜日を調整することができます。調整後はリューズを「図 0.」の位置に戻してからご使用ください。日付の変わる 0 時の前後 2 時間以内に指針がある場合、日付調整の操作は避けてください。この時間帯ではムーブメント内の日付変更用の歯車が、自動的に日付を切り替える状態に差しかかっています。この状態で手動操作による力を加わえますと歯車など微細なパーツが破損する恐れがありますので、操作にはご注意ください。

position:3

時刻の調整位置

リューズを「図 3.」の位置へ二段引き出すと秒針がストップします。時計回りに針を進めるようにリューズを回して時刻を調整します。調整後はリューズを「図 0.」の位置に戻してからご使用ください。

CHRONOGRAPH MODEL 自動巻クロノグラフモデルの操作方法



position:0

ネジ込み式リューズのネジ込み位置

position:1

ネジ込み解除および主ゼンマイ手動巻き上げ位置

自動巻時計は、着用時の腕の動きによってムーブメントのローターが振動することで主ゼンマイが自動で巻き上がり、時計が作動します。ただし、巻き上げ不足や長時間の放置により動力が消耗すると時計は作動を終えますので、即時に再作動させる際は、手巻時計の要領でリューズを「図 1.」の位置で回して動力を与え、作動を促してから腕に着用してください。

position:2

日付・曜日の調整位置

リューズを「図 2.」の位置に一段引き出し、12 時方向へ回すと日付が調整できます。逆の方向へ回すと曜日を調整することができます。調整後はリューズを「図 0.」の位置に戻してからご使用ください。日付の変わる 0 時の前後 2 時間以内に指針がある場合、日付調整操作は避けてください。この時間帯ではムーブメント内の日付変更用の歯車が自動的に日付を切り替える状態に差しかかっています。この状態で手動操作による力を加わえますと歯車など微細なパーツが破損する恐れがありますので、操作にはご注意ください。

position:3

時刻の調整位置

リューズを「図 3.」の位置へ二段引き出すと秒針がストップします。時計回りに針を進めるようにリューズを回して時刻を調整します。調整後はリューズを「図 0.」の位置に戻してからご使用ください。

クロノグラフ操作方法

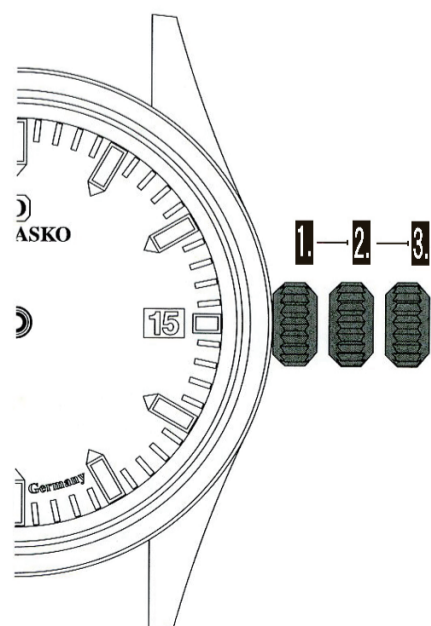
スタート/ストップ

プッシュボタン (上) を押すとクロノグラフ針が作動します。クロノグラフ針が 1 周毎に 12 時方向の 30 分計が 1 目盛ずつ進みます。また、クロノグラフ針が 60 周毎に 6 時方向の 12 時間計が 1 目盛進みます。プッシュボタン (上) を再び押すとクロノグラフ針はストップし、経過時間 (時、分、秒) の記録を読み取ることができます。経過時間を続けて計る際は、再度プッシュボタン (上) を押すとクロノグラフ針は再作動します。

リセット

作動中のクロノグラフ機能はプッシュボタン (上) を押すと停止します。その後、プッシュボタン (下) を押すとクロノグラフ針や各積算計は、すべてゼロ位置にリセットされます。

MANUAL WINDING MODEL 手巻モデルの操作方法



position:0

主ゼンマイ手動巻き上げ位置

手巻時計は、リューズを「図 1.」の位置で 12 時方向へ回すことで時計が作動します。リューズを回し続ける間に巻き止まりの軽い抵抗を感じたら、主動力であ

position:1

日付・曜日の調整位置

リューズを「図 2.」の位置に一段引き出して回すと日付調整できます。調整後はリューズを「図 0.」の位置に戻してからご使用ください。日付の変わる 0 時の前後 2 時間以内に指針がある場合、日付調整の操作は避けてください。この時間帯ではムーブメント内の日付変更用の歯車が、自動的に日付を切り替える状態に差しかかっています。この状態で手動操作による力を加わえますと歯車など微細なパーツが破損する恐れがありますので、操作にはご注意ください。

position:2

時刻の調整位置

リューズを「図 3.」の位置へ二段引き出すと秒針がストップします。時計回りに針を進めるようにリューズを回して時刻を調整します。調整後はリューズを「図 0.」の位置に戻してからご使用ください。